

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜盲学校

学校番号	101
------	-----

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、互いに助け合い、明朗で、たくましく生きる力を身につけ、社会に貢献できる児童生徒を育成する。
評価する領域・分野	進路渉外部「進路指導」「保護者、地域との連携」「教育環境整備」
現状及びアンケートの結果分析等	<p>保護者アンケートの項目10「学校は授業や学校行事等を参観する機会を設けて教育活動について積極的に公開している」について、回答はAのみの100%と、昨年度のA、Bを合わせた回答は88%から12ポイント増加となり、かなり改善されたことがわかる。生徒アンケートの項目7について、A、Bを合わせた回答は100%であり、前年度同様、将来に向けた進路相談について、生徒からの信頼を得られていると考えられる。</p> <p>また、生徒アンケートの項目24及び保護者アンケートの項目28について、保護者等のA、Bを合わせた回答は92%と、一定の理解は得られていると考えられるが、「あまりあてはまらない」が8%と、前年比-2%増であった。一方、生徒の回答は前年は-11%であったのが、A、Bを合わせた回答は19%と大きく増加している。</p> <p>今年度より、旧進路支援部とふれあい支援部の2分掌が統合されたことにより、進路行事への保護者等の参加の機会も増え、保護者からの評価は高かったが、各教育活動等が外部機関と連携したものであるということ等が一部の対象者には伝わっていないことが本アンケートを通して考えられる。</p> <p>具体的には、関係機関等を招いての講話や研修、見学（実習）等に加え、各機関の役割やサービス等についての情報発信を行うとともに、より丁寧な説明を繰り返し行っていくことで、関係機関についての理解を深め、必要な支援を適切に受けることができるよう周知を図る。また、定期発行している会報や各学部の進路行事についての記事を当校公式HPやInstagram等に掲載することで、さらなる情報発信や取組に関する周知を図りたい。</p>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のニーズを踏まえた進路支援の充実。 ・関係機関との連携及び、進路実現に向けた計画的・組織的な支援の推進。 ・進路支援と結びついたPTA活動の協力体制の構築及び推進。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・進路渉外部員を中心に、外部機関と連携することはもとより、学校全体から進路に関する情報を収集するとともに、担任と相互に情報を共有し、個々の生徒の日頃の進路指導に活用する。 ・管理職と進路渉外部員、PTA役員の協力体制により、必要に応じて他分掌とも連携しながら、PTA活動を運営する。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、保護者、職員への情報提供。 ・関係諸機関との連携と生徒の希望に即した進路開拓。 ・望ましい勤労観・職業観の育成。 ・行事毎にアンケート実施による、検証とフィードバック。 ・他分掌との連携行事を通じた視覚障がいに対する理解啓発活動の推進。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の進路実現までの支援を生徒自身と共有し、関係機関と連携して、適切な情報提供をすることができたか。また、実習や見学等を通して生徒が具体的な進路希望とその見通しをもてたか。 ・日頃からの支援をもとに、社会人としてのソーシャルスキルを身に付けることができたか。 ・児童生徒及び保護者のニーズを把握し、有意義な進路行事・PTA活動を実施することができたか。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な希望調査と時機をとらえた個別懇談の実施。 ・広報「梅ヶ枝」の発行と進路相談室の資料の整理、進路コーナーの活用。 ・進路の選択及び決定についての意識向上に資する取組（職業講話：ハローワーク岐阜訪問、福祉施設等見学、理療科見学及びあん摩マッサージ体験、先輩の話を聞く会、職場見学、年金セミナー、キャリア発表会、校内作業実習、現場実習、企業内作業学習、外部模試等）に向けた準備と実施、それを受けての結果と自己評価、目標設定までを含めた進路支援の実施。 ・障がい者就労支援機関との連携による迅速な求人情報把握と就労支援。 ・適切な進路選択を目的とした、治療院との連携による実践的な理療経営学の授業展開。 ・総会・2回のPTA実行委員会の開催・実施。フラワーアレンジメントPTA親子活動の実施。福祉振興大会への参加。 ・他分掌との連携（行事へのPTA参加）：給食試食会（2回）、点字ブロック理解推進活動等。 ・各行事のInstagram等への掲載を通じたSNSでの積極的な情報発信。

評価の視点	評価
① 一人一人の生徒の実態にあったキャリア教育と進路希望の実現。 ② キャリア教育の推進による、自己の伸長と主体的な進路選択。 ③ 常に新しい情報を把握した上での効果的な情報発信。 ④ 児童生徒及び保護者のニーズを踏まえた活動・行事等の実施。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D <input checked="" type="checkbox"/> A B C D A <input checked="" type="checkbox"/> B C D <input checked="" type="checkbox"/> A B C D
成果・課題	総合評価
○今年度についても、進路関係機関と連携を取りながら、進路支援を行うとともに、懇談や実習を必要に応じて繰り返し行い、主体的な進路選択に結び付く支援を行うことができた。 ○進路渉外部としての新体制の中で、予定通りの進路行事・PTA活動等を実施することができた。 ▲関係機関とその役割について、引き続き生徒及び保護者への情報発信を行う。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な進路選択へと結びつける支援を維持強化しながら、関係機関と連携し、ニーズをとらえた適切な情報提供を行う。 ・懇談や進路関係行事、広報等を通じて、児童生徒への発達段階に応じた丁寧な説明を行っていく。また、取組や通信について、HPへの掲載を行い、さらなる情報発信を行っていく。Instagram等の活用も継続していく。 ・保護者の負担軽減を図りながら、ニーズに応じたPTA活動の実施を目指す。

学校関係者評価 (令和7年6月30日、11月1日、令和8年1月28日実施)

意見・要望・評価等 ・視覚障がいがあることで進路選択の幅が狭くなることが予想されるが、なりたい職業に向けて進路指導していくことも大切にしてほしい。
--